

身近な地質スポット

三重県いなべ市北勢町阿下喜／「インブリケーション」

今回は、「インブリケーション」(覆瓦構造／ふくがこうぞう)の紹介です。

インブリケーションとは、河原で見られる現象で、礫がみんな行儀よく、規則的に傾いて並んでいる構造をいいます。

河原の礫はボールのように真ん丸ではなく、つぶれた形になっています。それが流れて落ち着くときは、流れに逆らうことなく平らな面を上流側に向けます。そうでなければ水流でめくられてひっくり返り、再び流されてしまうからです。

後から流されて来る礫も、みんなそのように並んでいった結果、図-1や写真-1のような配列になってしまうのです。

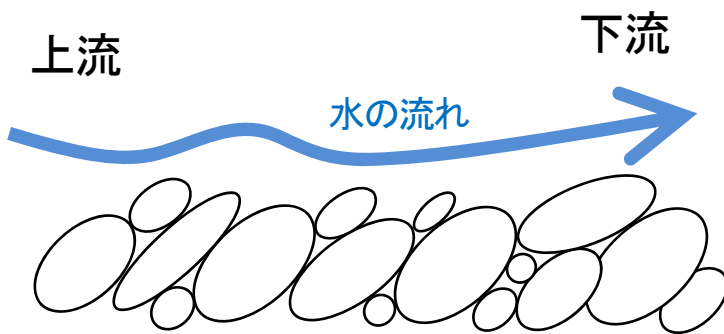


図-1 インブリケーション



写真-1 員弁川(阿下喜)の河原にて撮影

礫の並びを観察すると、たとえ枯れた河川であっても、どちらが上流側か、当時の水流の方向(古流向)を判別することができます。

インブリケーションは礫に限らず、砂でも顕微鏡レベルで観察することで方向性を見いだせる場合もあるそうです。

自然の摂理に感心させられます。

このインブリケーションはどこでも観察することができます。遠目に河原の礫を観察してみてください。校庭に行儀良く整列することもたちのように、規則正しく礫たちが並んでいる姿がみられることでしょう。



写真-2 員弁川(阿下喜)の河原で観察できる段丘崖

段丘崖に見られる礫層

残念ながら、明瞭なインブリケーションは確認できません。

古流向は奥から手前?

余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

らーめん たべ亭



場所：三重県いなべ市北勢町阿下喜321
営業時間：火～金／11:00～14:00、17:00～22:00
土・日／11:00～14:30
定休日：月曜日

らーめんの種類はとんこつ、白湯、みそ、しょうゆ、塩と豊富です。
チャーシューが自慢なのだとか。
工場勤務の方、トラック運転手で賑わうお店です。
とんこつと白湯をいただきました。安定したおいしさでした。

国道305号沿い。
「いなべ総合病院西」交差点の北側、
ヤマダ電機のすぐ横です。
国道沿いに賑わいを見せる一角。



「らーめん」と「とんてき」が売りのようです。
ランチメニューはありませんでした。夜のめにゆーに力が入ってます。
地質調査のHPを見たと言うと、なにかサービスがあるかも。